



令和4年度学校便り

あらたに 7月号



文責 長友 裕之

<自分を知り進んで学ぶ子ども>
<感謝の気持ちを持ち思いやりのある子ども>
<健康でたくましい子ども>
<地域・ふるさとを大事にする子ども>

「わくわく応援隊発足式」ありがとうございました。

ご記憶のある方もいらっしゃると思いますが、今一度掲載します。

森林探求し貢献

高鍋高校1年 西田慎之介さん

私の故郷諸塚村はとても自然豊かな村だ。「林業立村」をかかげ、林業を主な産業としている。諸塚村の森林は世界森林認証や世界農業遺産の認定などを受けていて、世界的にも認められた森林だ。

しかし、諸塚村は山間地域で人口減少、少子高齢化の影響を受けている。それにもなって林業の人手不足も大きな問題となっている。私は、諸塚の森林が大好きだ。小さいころからこの森林とともに育っている私の宝だ。だからこそこの森林を絶やしたくないと強く思っている。

その中で私はSDGsの目標15に興味をもった。目標15は陸域生態系の保護が主なことだ。全国的に農林業の人手が不足している。また世界的にも森林がたくさん切り倒されたり、火事になったりしている。森林は地球上においてさまざまとても大切な役割をもっている。だからこそ絶やしてはいけないと考える。

私は高鍋高校の探求科学科の生徒として、森林についての探求活動をしたいと考えている。少しでも村に貢献するために、森林について探求し、将来に役立てたいと思う。

令和4年 5月20日 宮崎日日新聞「若い目」掲載

何度読んでも素敵な文章です。慎之介さんの内に秘めたる強い思いも感じとれます。本校のわくわく学習あつてのものと勝手に合点しています。

小学校3年生から、この調べ学習がはじまり中学校までの7年間でたっぷり諸塚の人、自然、文化、歴史などにふれ、子どもたちなりに何かを思い、考え、自分のふるさとに思いを寄せます。そして、15の春のあと、この子どもたちは、俯瞰的に「諸塚」をみることができ、そして、また、何かを感じとるのだと思います。

本日のわくわく応援隊発足式もたくさんの地域先生が来てくださいました。ありがとうございました。甲斐啓二様、松村泰宏様、黒木治様、甲斐幸一様、吉永勝正様、前田隆男様、山本由香里様、浮田宗一郎様、清水益男様、甲斐義継様、三林直矢様、松村久志様、伊藤忠様、甲斐良二様、矢房孝広様、有澤育人様、右田良一様、お忙しい中、子どもたち、そして私たち職員のため来ていただきありがとうございました。とても参考になることそして貴重なお話しばかりでした。

これからの調べ学習がよりよいものになると確信しました。貴重な時間をありがとうございました。



7月の行事予定

- 4日(月) ファミリー読書週間開始
- 8日(金) わくわく応援隊発足式
- 15日(金) ワックス清掃開始
- 18日(月) 祝日 海の日
- 20日(水) 結団式
- 22日(金) 終業式
- 26日(火) 第10回子ども議会
- 27日(水) 諸塚村教育会

話題提供？

7月の全校集会で子どもたちにお願いしたことがあります。それは、車にのっているとき(学校の行き帰り、村外へのお出かけ)、周りの景色の中で目にとまった、木の名前や花の名前を保護者に聞いてね、と言いました。

わくわくでは自分の興味のあることを調べていますが、その根底である、自分が住んでいる周りの草花、木々にはちょっと疎いようです。プール開きの際、プール横に栗の花が咲いていたので、これは何の花？と尋ねたところ、「・・・」でした。栗の花が落ちたら梅雨にはいるから、栗花落と書いて「つゆり」というんだよ。「・・・・」ネムノキの花も終わりを迎えています。